

市長提案説明要旨

令和8年5月29日

本日ここに、令和8年第2回鹿嶋市議会定例会の開会に当たりまして、2期目の市政を担う所信の一端を申し述べるとともに、当面の事業概要並びに提出いたしました議案などについてご説明を申し上げます。

《はじめに》

このたびの市長選挙で、引き続き市政を担わせていただくこととなりました。

「虫も人も明るいところに集まる」は、私の心の中にある言葉です。

「明るさ」とは明るい性格のみではなく、物事にも明るいことが非常に大切であるということが分かってきました。市政運営では、物事の明るさという意味で専門的な知識、正しい数字や事実の把握が必要であります。引き続き「明るく、心豊かに暮らせるまち 鹿嶋」の実現に向けて誠心誠意、取り組んでまいり所存です。

さて、1期目は、重点的に「行財政改革」に取り組みました。この4年間で持続可能な財政体質となり、所期の目的は概ね達成し、収入面では、ふるさと納税収入で令和4年度と7年度を比較して4.2倍、ネーミングライツ収入で2,184万円の増、また、市債残高は令和4年度と7年度を比較して約29億円の減、基金残高は令和5年度と7年度と比較して約2倍の増と、歳入・歳出ともに好転いたしました。このことは議員各位や職員と取り組んだ成果であり、数字として表れたものと自負しております。

2期目におきましても、すべての市民の皆さまに共通する部分である「出生」、「教育」、「医療」、「福祉」に加えて、「介護」、「インフラ」についても重点的に施策の展開を図り、人口減少社会に向き合いながら、30年、さらには50年先を見据え、未来ある鹿嶋づくりに向けた取り組みを進めてまいります。

< 2期目の政策 >

今後はリソースが減る中での市政運営という大きな転換期を迎えます。

このような状況下において、「リソース革命」と「未来への投資」の2つの視点が重要であると思っています。

1点目のリソース革命、これは私の造語であります、まさに人口減少社会への対応であります。具体的にはAIの活用やインフラの統廃合、これらスマート&コンパクトシティの推進であり、市役所であれば市職員も減少する中で、スマート化への移行は必須事項であり、インフラであれば道路、学校などの公共施設の統廃合により、コンパクト化する必要が出てくるということです。

2点目の未来への投資は、具体的には新スタジアム建設に伴う周辺整備、(仮称)鹿行南部道路の推進、クリーンな電源拠点の確保を行うものです。

なお、デフレからインフレの局面においては、投資、すなわち起債の活用の時期をしっかりと見極める必要があると思っています。未来への投資については起債の活用が不可欠であり、世代間負担の公平性が図られ、単年度ではなく中・長期的な視点が前提となります。このため、投資とのバランスを取りながら、健全財政を堅持しつつ、将来に負担を残さない「次世代への責任」ある市政運営を行ってまいります。

続きまして、Next鹿嶋5本の柱について、申し上げます。

<Next鹿嶋「5本の柱」>

1 次世代も輝く雇用のある鹿嶋

「次世代も輝く雇用のある鹿嶋」につきまして、最も重要なことの一つは働く場、雇用の場の確保であります。

現在、令和4年に策定した「鹿嶋市洋上風力発電事業推進ビジョン」に沿って、地元企業の新規参入を支援するセミナーの開催や鹿島港及び洋上風力関連企業ガイドの作成など、本ビジョンの実現に必要な施策に取り組んでいるところです。

そして、雇用の創出のためには、鹿島臨海工業地帯の既存産業機能を維持しつつ、クリーンエネルギー供給拠点への進化が重要と考えております。

市としましては、大規模な発電を担う「洋上風力発電」や脱炭素化の新たな燃料である「水素」などのクリーンエネルギーの拠点を鹿島港を核に形成し、GX（グリーントランスフォーメーション）産業の創出を目指します。今こそ、確実な種を蒔くことが未来への責務であることから、基幹産業を中心とした既存産業の支援も含めて、活力ある鹿嶋の未来に向けて、引き続き、取り組んでまいります。

2 暮らしやすく、生きがいのあるまち鹿嶋

次に「暮らしやすく、生きがいのあるまち鹿嶋」につきましては、人生100年時代と言われる中において、安全・安心で、元気に健康で充実した生活が送れるよう、市民生活に直結する環境を整えることが求められています。

特に医療の分野では、市民の皆さまが住み慣れたこの鹿嶋で、生涯にわたり安心して暮らすため、強固な地域医療体制の確保が不可欠です。

これまで本市では、医療機関との本市独自の医師確保支援事業も功を奏し、市内の医師数は着実に増えてまいりました。併せまして、医師会や各医療機関と夜間・休日を含む救急医療や小児医療の維持・充実に全力で取り組んできました。

今後も、さらなる医療人材の確保に努めるとともに、4月からは無痛分娩費用助成事業を開始し、無痛分娩での出産を希望する妊婦に心身ともに母胎への負担が軽減されるよう支援しております。

そして、福祉の分野では、さらなる高齢社会においても安心して相談できる地域包括支援センターの充実を図ってまいります。

3 元気で賢い鹿嶋っ子育成

次に「元気で賢い鹿嶋っ子育成」につきましては、近年、AIなどの技術革新が驚異的なスピードで進む中、子どもたちにとって、これからの社会を生き抜く資質や能力も変化しつつあります。

これらに対応するため、教育大綱の改訂、学校規模適正化基準の策定や小中一貫教育の推進など、教育環境の充実に取り組んでまいりました。引き続き、国語・算数教育にかかる授業改善プロジェクトの実施、ALTの活用による英語教育など、子どもたちの学力向上を図ってまいります。

今後、学力向上に際して、教育予算の拡充や教育にかかる保護者負担の軽減について、様々な検討を重ねていきたいと考えております。

4 行ってみたい、暮らしてみたい鹿嶋

次に「行ってみたい、暮らしてみたい鹿嶋」につきましては、鹿島神宮に代表される歴史・伝統、鹿島アントラーズを始めとしたスポーツ文化、また、北浦・鹿島灘に囲まれた肥沃な台地と田園などの豊かな自然・食材など、魅力ある地域資源を有しております。

これらの地域資源を最大限に活かし、地域経済の活性化が求められております。特に鹿島神宮周辺の商業地区につきましては、チャレンジショップ事業補助を活用した事業者支援を行い、この4年間で多くの出店の実績があり、かつての賑わいを取り戻しつつあります。

今後も、これまで取り組んできた事業を継続しながら、「行ってみたい、暮らしてみたい鹿嶋」につなげていきたいと考えております。

また、カシマサッカースタジアム周辺地区の整備は、去る2月に茨城県・鹿島アントラーズとともに新スタジアムプロジェクトとして発表され、2033年開業を目指し動き出したところです。新スタジアム建設は、市にとって夢のある未来を形づくる大きな可能性を秘めた大型プロジェクトであり、引き続き、県や鹿島アントラーズとの連携を図りながら推進してまいります。

5 行財政改革

「行財政改革」につきましては、まずは財政の健全化が急務として、1期目に重点的に取り組んでまいりました。職員の意識改革と市民の皆さまの健全化への取り組みに対する理解が進んできたものと思っています。

財政健全化は維持しつつ、組織体制については、令和5年度に「DX・行革推進室」を設置し、電子申請の拡充や業務の自動化、AI活用の導入が図られ、時間削減効果として数字で表われ、働き方改革にもつながりました。今後も、持続可能でリソース不足にも対応したスマートな行政運営を目指してまいります。

また、政策決定においては「ロジックモデル」を活用しており、随時、評価と検証を行いながら運用してきております。ロジックモデルは、論理の飛躍のチェック

や事実及びエビデンスに基づく質の高い施策展開に有効であることから、さらなる活用を図ってまいります。

以上、所信の一端を述べさせていただきましたが、これらの施策を展開し、「明るく、心豊かに暮らせるまち 鹿嶋」を実現するためには、議員各位とともに市民の皆さまの御理解と御協力が不可欠であります。

今後におきましても、あらゆる機会を通じて、忌憚のない御意見を賜り、本市の未来を切り拓くため、共に歩んでいただきますよう、心よりお願い申し上げます、これから4年間の市政運営に関する所信表明といたします。

《事業の概要等》

続きまして、鹿嶋市のまちづくりの実績と当面の事業概要について、ご説明申し上げます。

<食料品等物価高騰対応給付金給付事業>

現在、市では食料品や日用品に限らず、物価高騰の影響を受ける市民の皆さまへの経済支援といたしまして、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、全市民の皆さまに対し1人当たり現金5,000円、75歳以上の方に対しては6,000円を給付する「食料品等物価高騰対応給付金給付事業」を実施しております。

4月下旬に対象となる世帯（31,097世帯）に通知を送付し、現時点での状況としましては、約19,000世帯の方へ給付し、給付率は約61%となっております。今後、7月までに全市民の皆さまへの給付を目指して事務を進めてまいります。

<鹿島アントラーズ>

○2026 J1百年構想リーグ・2026 FIFAワールドカップ日本代表選出

鹿島アントラーズは、2月に開幕した明治安田J1百年構想リーグにおいて、昨シーズンのリーグ優勝の勢いそのまま、ホームゲーム無敗で地域リーグラウンドを制覇しました。ホーム&アウェイ方式で行われるプレーオフラウンドで、明日30日、西の地域リーグを制したヴィッセル神戸と対戦します。記念すべき特別な大会を制し、100年先へと続く新たな歴史の1ページとなる戦いに皆さんの熱い応援をお願いいたします。

また、来月開幕するFIFAワールドカップ北中米大会に、鹿島アントラーズの守護神、早川友基選手とディフェンダーのキム・テヒョン選手が日本代表、韓国代表にそれぞれ選出されました。世界の頂点を目指す舞台に立つことは、本市並びに市民の皆さまにとりましてもこの上ない誇りであり、大きな喜びであります。J1

リーグでの輝かしい活躍と日々の鍛錬の結果が結びついたものであり、心からお祝い申し上げますとともに、強豪が集う最高の舞台での活躍を市民一同期待しております。

(環境未来都市・鹿嶋をつくる／行ってみたい、暮らしてみたい鹿嶋)

○新スタジアムエリアの開発

カシマサッカースタジアム周辺地区につきましては、「スマート&コンパクト」なまちづくりの「シンボル拠点」として整備していくこととし、本年4月から都市整備部内に「スタジアムエリアみらい整備室」を設置し、エリア開発の準備を本格始動させました。

現在の取り組みといたしましては、本定例会において「カシマサッカースタジアム周辺地区整備基本計画」に係る補正予算を計上したところであり、茨城県ではすでに「新カシマサッカースタジアム基本計画策定支援業務」に係る公募型プロポーザルを実施中であります。

茨城県と足並みをそろえるとともに、スピード感をもって事業を進めてまいりたいと考えております。

○式年大祭御船祭記念第46回鹿嶋市花火大会

本市の一大イベントである鹿嶋市花火大会は、12年に一度の鹿島神宮式年大祭御船祭が斎行される年に当たることから、今年度はこれを記念し7月4日に開催いたします。当日は鹿嶋市観光協会を始めとした関係団体と連携し、大玉108連発や水中スターメインなど、多くの皆さまに楽しんでいただける花火大会としてまいります。

○チャンス区画グランドオープン

令和7年度から準備を進めてまいりました「お試しチャレンジショップ事業」が4月26日に、2店舗出店のもと新たにスタートいたしました。

本事業は、創業を目指す方に対し初期投資の軽減や低家賃での利用などにより、低リスクでお試し出店ができる環境を提供し、事業者の本格出店に繋げていくものであります。事業の実施に当たりましては、企業版ふるさと納税を活用し、株式会社カクイチ様からガレージ一式を、株式会社フードトラックカンパニー様からキッチンカー2台をご寄附いただき、仲町通りと角内通りの角地に、新たなチャレンジの場「チャンス区画」を整備いたしました。

今後も、都市計画において商業地域と位置づけているエリアへの商業機能の集積を図り、にぎわいを創出する取り組みを進めてまいります。

(共に学び成長しながら生きる／元気で賢い鹿嶋っ子育成)

○三笠小学校の文部科学大臣表彰受賞

三笠小学校が4月23日、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、「令和8年度子供の読書活動優秀実践校」として文部科学大臣表彰を受賞いたしました。

この栄誉は、長年にわたり登校後から朝の会までの時間を活用した読書タイムの実施や図書委員による読書活動の積極的な推進、さらには中央図書館との連携を通じた学習活動の充実といった取り組みが高く評価された結果であります。

今回の受賞を契機として市内全体の学校における読書活動のさらなる充実と発展が図られることを期待しております。

(スマート&コンパクトな鹿嶋をつくる／暮らしやすく、生きがいのあるまち鹿嶋)

○空家対策の3者連携協定

年々その重要度を増している空き家対策について、本市では、株式会社鹿島アントラーズFC及び株式会社アルバリンクと先週5月23日に、連携協定を締結いたしました。

空き家の利活用に強みを持つアルバリンク社の専門的知見と、アントラーズの地域への高い発信力を融合させ、空家再生及びその流通を加速させてまいります。

また、3者連携による啓発活動により、家屋の適正管理を広く周知し、本市の空き家発生及び増加の抑制を図ってまいります。

以上、まちづくりの実績と当面の事業概要についてご説明申し上げます。

《提出議案等》

次に、提出しました議案についてご説明申し上げます。

提出議案は、予算関係議案が2件、条例関係議案が4件、人事関係議案が1件、報告関係議案が3件、合わせて10件であります。

予算関係議案は、令和8年度一般会計の補正予算であります。

一般会計補正予算については、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億351万8,000円を追加し、総額258億5,751万8,000円とするものです。歳入の主なものといたしましては、小学校費補助金などによる県支出金の増、ふるさと納税基金繰入金による繰入金の増、給食費による諸収入の減、道路橋りょう債などによる市債の増などを見込みました。

歳出の主なものといたしましては、道路維持補修費の増、スタジアムエリア整備

事業の皆増，教育総務事務経費の増，学務事務経費の増などを計上しました。

介護保険特別会計については，地域支援事業費の補正であります。

条例関係議案は4件で，すべて一部改正となり，「鹿嶋市介護保険条例の一部を改正する条例」などがあります。

人事関係議案は，鹿嶋市副市長の選任に当たり，議会の同意を求めるものです。

報告議案3件は専決処分の報告で，「鹿嶋市税条例の一部を改正する条例」などのほか，令和7年度鹿嶋市一般会計補正予算（第9号）については，ふるさと納税基金積立金1億30万円を追加いたしました。

以上で説明を終わりますが，なお詳細につきましては，お手元の議案説明書によりご審議のうえ，適切な議決を賜りますようお願いいたします。